

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	社会調査法演習（Exercise in Social Research Method） 393145-14400					担当教員	石川英樹 （イシカワ ヒデキ）		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
社会調査の目的は、個人、集団、地域社会、国家等といったさまざまなレベルでの社会的ニーズを明らかにすることである。この授業では調査計画や方法、調査票の作成と集計について学修する。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力を養う授業である。									
③ 授業の進め方・指示事項									
履修者の関心に基づいた項目について、アンケート調査を企画し実施する。また Excel を活用したデータ処理と分析の基礎を学ぶ。調査の企画から調査実施まで実際にパソコンを使って行う。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「社会調査法」「コンピュータリテラシー1」「コンピュータリテラシー2」「表計算ソフト利用技術」「プレゼンテーションソフト利用技術」									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 社会調査を企画して発表できる。 (ii) アンケート票作成、調査実施、結果の集計、分析の一連の作業ができる。 (iii) 調査結果を発表し、わかりやすく伝えることができる。									
⑥ テキスト（教科書）									
テキストは使用しない。授業時間中に資料を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
安藤明之(2013)『初めてでもできる社会調査・アンケート調査とデータ解析[第2版]』日本評論社 その他、随時授業中に紹介する。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計	

総合評価割合			60%		40%			100%
(i) 社会調査の企画			20%		10%			30%
(ii) アンケート調査の一連の作業			40%					40%
(iii) 調査結果の発表					30%			30%
フィードバックの方法	毎回の作業に対して個々にコメントし、調査が進むようアドバイスをする。課題と発表に対して講評を直接伝える。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
 受講生による課題設定で学修意欲が高まるので、授業内での課題設定の議論を重視したい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション	筆記用具	配布資料の復習	45分
2	調査の企画①～課題の抽出	筆記用具	調査テーマの設定と論点の整理	60分
3	調査の企画②～調査の行程とスケジュールの検討	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	調査企画書の作成	60分
4	調査票の作成①～質問項目の検討	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	調査票案の作成	60分
5	調査票の作成②～レイアウトと挨拶文の検討	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	調査票案の仕上げ	60分
6	調査の実施①～調査法（調査票配布・回収）の検討	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	配布資料の復習と調査法についての検討	60分
7	調査の実施②～調査の依頼などについて	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	調査票の配布と回収の段取り	60分
8	データ整理とコーディング	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	回収調査票の整理、ナンバリング、エクセル表の準備	60分
9	データ入力	筆記用具、必要	回収調査票のデータ入力の完成と	120分

		に応じて USB フラッシュメモリ	確認	
10	.Excel を使ったデータの集計・分析①～単回答の単純集計	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	配布資料の復習と単回答の単純集計の完成	60 分
11	Excel を使ったデータの集計・分析②～複数回答の単純集計	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	配布資料の復習と複数回答の単純集計の完成	60 分
12	Excel を使ったデータの集計・分析③～クロス集計	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	配布資料の復習とクロス集計の完成	90 分
13	Excel を使ったデータの集計・分析④～図表の作成	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	報告書とプレゼンテーション資料のための図表の作成	90 分
14	調査報告書の作成	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	調査報告書の完成	120 分
15	発表資料の作成	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	プレゼンテーション資料の完成	120 分

⑪ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型 AL を採用する。個人別レポート（調査企画書）の内容を基にフィードバックを行う。その後協同学修型 AL では、グループワークとディスカッションを行い、調査企画とアンケート票を作成する。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
平成 4（1992）年 6 月～平成 16（2004）年 3 月に(財)国民経済研究協会に在籍し、企業環境研究センター、経済産業研究部の研究員として、官公庁等からの委託調査や自主調査を数多く手がけ、アンケートや統計調査の報告書作成や発表に取り組んだ。	
実務経験と授業科目との関連性	
社会調査に関する数多くの実務経験を通じて培ってきた知識・技術等を最大限に活用して、アンケート調査を始めとする演習を指導して、履修生による社会調査法の学修に貢献したい。	